

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4077600130		
法人名	医療法人 三井会		
事業所名	グループホーム くましろ		
所在地 (電話番号)	久留米市北野町八重亀391-1 (電話) 0942-23-4323		
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成19年6月29日	評価確定日	平成19年8月1日

【情報提供票より】(19年 6月 8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 2月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤 22人, 非常勤 0人, 常勤換算	22人

(2) 建物概要

建物形態	併設/単独		新築/改築
建物構造	鉄骨 造り		
	4 階建ての 2 階 ~ 4 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( ) 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,100 円	

(4) 利用者の概要 (6月 8日現在)

利用者人数	27 名	男性	5 名	女性	22 名
要介護1	3 名	要介護2	8 名		
要介護3	9 名	要介護4	6 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	62 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神代病院、訪問看護ステーション「野いちご」、古賀歯科医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当たり前のように普通に暮らせ、安心して自分らしい豊かな生活が送れるようにと、願いをこめた理念が作られている。その理念に沿って、職員全員がケア技術の向上に取り組んでおり、入居者一人ひとりが安全に、安心して心豊かに過ごせるホームである。快適な生活空間や、季節感が感じられる工夫をしており、管理者をはじめ職員は、入居者に対し家族のように自然な生活支援をしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価を参考に、ユニットごとに会議や勉強会を持ち、評価に対する反省や改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で取り組んでおり、ユニットごとに勉強会も行ない、職員は常に改善に対する意識を持っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回は運営推進会議を開き、入居者家族の要望や地域の方々の声を取り入れている。行政機関へは定期的に訪問し、ホーム便りの配布などで現状報告をしている。久留米市介護福祉サービス事業所協議会への参加など、「市」との連携を図り、サービスの向上に活かした取り組みをしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	ホーム便りや広報誌など、また家族面会時に日頃の暮らしぶりや金銭管理の報告を行っている。苦情箱などの利用がないため、家族が来訪された際に十分に話を聞いている。不安への対応や急変時は、その日のうちに連絡を行っている。運営推進会議には家族会からも出席してもらい、運営に活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	区長や民生委員の方々の協力を得て出来るだけ地域活動に参加している。小学生や中学生との交流会や体験学習など交流をしている。更に自治会や老人会行事などの地域活動にも積極的に参加し、地元の方々との交流が深まることを期待する。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	安心して自分らしい豊かな生活を送る事が出来るようにとの願いをこめた理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念の意味を理解し毎朝、理念の唱和を行っており、地域とのふれあいや生活の中でのリハビリ訓練など、日々のケアでの実践に努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学生との交流会や中学生との体験学習など、出来るだけ地域活動に参加している。		自治会、老人会行事などの地域活動にも積極的に参加し、地元の人々との交流に更なる努力を期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価を参考に、ユニットごとに会議や勉強会を持ち、その中で評価に対する反省や具体的な検討を行ってきた。改善すべきところを謙虚に受け止め、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議を開き、入居者家族、地域の方の声を取り入れサービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政機関へは定期的な訪問を実施し、ホーム便りを届けるなどして現状報告をしている。久留米市介護福祉サービス事業所協議会へ参加し、市との連携を図りサービスの向上に取り組んでいる。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるように支援している	制度を実際に利用している人はいないが、職員は勉強会を開き学習している。必要な方には、市町村との連携をとるなどの協力体制の取り組みがある。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	広報誌をはじめ、家族面会時に日常の暮らしぶりや金銭管理、職員異動の報告を行っている。入居者の健康状態の異変については、その日のうちに連絡している。あまり訪問のない家族には、郵送で対応している。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の利用がないため、家族が来訪された際に十分話を聞いている。運営推進会議には入居者の家族も参加している。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者の不安や混乱が起こらないように、管理者の異動は行わないなど配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	新卒者から定年後の再就職者まで、幅広い職員を採用しており、未経験者にも資格が取得できるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	法人での研修会やホーム内の勉強会など実施。人権週間などに行われる講演会へ参加を促している。		
13	21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人での新人研修を始め、ホーム内の勉強会も課題を決め毎月開催している。法人外の研修にも積極的に参加している。		
14	22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	久留米市内でのグループホーム連絡協議会を立ち上げ、ネットワークを築き、サービスの向上に取り組んでいる。		
<b>・安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居申込みの際には、本人および家族の見学や十分な説明を行っている。本人の生活歴などの情報を職員全員で共有することにより、徐々に馴染めるように取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に人生の先輩として敬う精神で日常生活の中で家族のように自然な関係を築いている。一方的にお世話をするのではなく一緒に過ごしながら、梅干や漬物の作り方を習うなど、支えあう関係を築いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の関わりの中で一人ひとりの希望や意向を把握し、家族からの生活歴の聞き取りなどにより、本人の思いが活かされる支援を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	運営推進会議の際にご家族から意見や要望を聞く機会を作り、本人や家族が望む介護計画を作成している。		
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しは3ヶ月毎に行っている。状態が変化した時は速やかに本人や家族、計画作成担当者や職員などで担当者会議を開き、随時見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望に応じて柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人内の病院のほか、本人主体の医療の提供を重視し、かかりつけ医との連携、また緊急時の医療機関との連携も保っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人や家族の希望に応じて、終末期ケアを実施。ホーム内で看取りもなされ、かかりつけ医や病院、訪問看護ステーションとの連携を保ち、安らかな余生が送れる、そのような取り組みを全員で共有している。</p>		
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
23	52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉使いなどの接遇はユニット会議や勉強会で話し合っている。個人情報の取り扱いは十分注意し、ホーム外に持ち出さないようにしている。</p>		<p>食事中に介護エプロンを使用している方の状態の改善に合わせて、はずしていく方向の支援が望まれる。今後も研修会や勉強会を継続的に開催し、職員全員の意識を更に高めていくことに期待する。</p>
24	54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者一人ひとりのペースに合わせた生活支援をしている。起床時間や就寝時間など、今までの生活と同じように自由にできるよう希望に沿った支援をしている。</p>		<p>入居者主体の生活のために更なる技術の向上に期待する。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
25	56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>普段の会話の中で食べたいものや好みを聞いて献立に取り入れている。調理の下準備や味付け、食事、片付けなど職員と一緒にしており、利用者の力が発揮できるようにしている。</p>		
26	59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>本人の希望を第一にし、日時も個人に合わせている。不安のある入居者には一緒に入ったり、温泉気分を味わいたい方には、大浴場での入浴を楽しんでもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の生活歴や力を活かす役割をもてるよう支援している。楽しみごと、気晴らしの取り組みとして音楽療法士による音楽会を実施し、楽しんで身体を動かすリハビリスタッフによる指導もしている。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物など本人の希望に沿って外出したり、季節ごとに花見やドライブなど、気分転換の機会を設けている。家族と一緒にの外出など支援している。		個人に合わせて外出の機会を増やす工夫に期待する。
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関、フロア出入り口ともに鍵をかけず、見守りを行っている。居室に関しては、夜間であっても職員が鍵を掛けることはない。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルにより、職員へは周知徹底している。年2回の訓練が行われ救急蘇生法の講習も受けている。地震の際の避難場所など、運営推進会議で民生委員、区長の協力を要請している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや水分量などの確認は管理栄養士が実施し、個人の状態に応じた献立や食事形態にしている。		水分や食事の量などの記録は細かくされているが、二重三重に書かれている。時間的な負担を考慮した記録方法の改善に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を採り入れた空間になっている。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前の生活歴より居心地がよくなるように本人や家族と話し合っている。入居前の生活空間に近づこう、自宅訪問をするなど取り組んでいる。また、本人の趣味や個性に合わせて家具や仏壇など持ち込んでいる方もあ		